

Hello, Kids!

特集：国際理解教育と小学校英語

役割演技を
しながら買い物を
楽しんでいます。



巻頭言 小学校英語で学ぶこと、教えること

卯城祐司（筑波大学大学院助教授）……………2

アンケート調査に基づく課題把握からマニュアル作りに向けた取り組み

吉田敏明（埼玉県鶴ヶ島市立西中学校校長）……………3

実践報告 旭川市から発信！大きく広がれ小学校英語の「輪」！

小山俊英（AEEN統括コーディネーター）……………4

リクエスト給食～オリジナルランチセットと世界の昼食～

江尻寛正（東京都大田区立池雪小学校教諭）……………6

学級担任のための英語救急箱……………8

Say “Hello” with Alison! 根本アリソン（福島県双葉郡大熊町ALT）……………8

茨城県猿島郡
境町立長田小学校
麻生ひろ子先生



自己決定したことを
英語やジェスチャーを
使って相手に伝える
活動と、その教材作りを
心がけています。



小学校英語で学ぶこと、 教えること

筑波大学大学院助教授 卯城 祐司



小学校英語では、その目的や活動が「国際理解」なのか「英語教育」なのかと議論されることがあります。しかし、そもそも実際のコミュニケーションにおいて、どちらがより重要かと二者択一することが可能でしょうか。

よく用いられる文献に、人と人とのコミュニケーションにおける「言葉」と「非言語」の伝達割合を調べたものがあり、結果は35:65でした (Birdwhistell, 1970)。また、表現方法でも7:93であり、声のトーンや表情などのほうが圧倒的に多かったのです (Mehrabian, 1968)。

これらのデータを私は、コミュニケーションにおいては、その使用言語を学び情報伝達の精度を高めること、つまり言語教育も大事であるが、常に相手の立場や感情を意識する伝達方法やこころのあり方が、さらに大事であると解釈しています。

例えば、発音など学ばなくとも日本人はカタカナ読みでよい、という極端な主張もありますが、これは自分が学ぶ努力を放棄し、相手に負担を押しつけることにもなります。一方、英語は外国語として用いる人の割合が圧倒的に多いのですから、学びつつも現段階の自分の英語や発音に臆せず胸を張って用い、そして、相手の多様な英語表現や発音には寛容であるべきです。

娘が小学生のとき、ボツワナから来られた方が授業を担当されました。その方はどうやらwaterを「ウォッタ」と発音されたようです。子どもたちを順に指名しますが、みな「ウワーラ」と発音し、先生は困ったような表情を見せました。そして娘の番になったとき、「ウォッタ」と発すると、先生には満面の笑みが浮かびました。それからは、みな、「ウォッタ」、「ウォッタ」と続けました。

このエピソードには、教育上の課題や問題がたくさんあるでしょう。しかし、この小学生たちが、その後も、この先生には「ウォッタ」、他の先生には「ウワーラ」と使い分けてやりとりしたと聞き、彼女たちが英語以外に学んだものの大きさを感じずにはられないのです。

water?
Water

アンケート調査に基づく課題把握から マニュアル作りに向けた取り組み

埼玉県鶴ヶ島市立西中学校校長 吉田 敏明



埼玉県入間地区中学校英語教育研究会は小・中・高等学校の連携を研究実践のテーマに掲げている。そこで、この研究会の下部組織である研究推進委員会では、小学校英語活動の課題を把握し、その解決に役立つマニュアルを作ることになった。この計画に基づき、平成18年9月、地区内の小学校173校に下記のようなアンケート調査を実施した。

- ①学年ごとの英語活動の時間数
- ②指導形態（担任、ALTとのTTなど）
- ③困っていること
- ④どんなことで困っているか
- ⑤中学校と連携しているか
- ⑥どんな面で連携しているか
- ⑦授業改善に向けたアイデア

これによると、小学校英語活動の実態は学校によって非常に大きな差があることがわかった。まず、年間の授業時間数では1,2年生は0～30時間、3,4年生が0～35時間、5,6年生が1～35時間と様々である。平均してみると1,2年生が6時間、3,4年生が9時間、5,6年生も9時間であった。

指導形態のうち最も多かったのが「担任とALTとのTT」で41%、次に「ALTのみ」が32%、「担任のみ」が9%、「担任とボランティア」が7%、その他が11%となっている。

また、「困っていることがある」と回答したのは89%で、その内容は「カリキュラム」と「指導内容」が最も多く、それぞれ20%であり、次に多いのが「教材」で17%、「英語の指導力」が14%、「自分の英語力」と「ALTとの関係」がそれぞれ12%、その他が5%である。

小中連携については、連携した活動を行っているのはわずか25%で、その内容は「小・中での話し合い」が26%、「中学校の英語の授業を参観する」が22%、「小学校の授業を参観する」が17%、「小学校の授業に参加する」が9%、その他が26%である。

これらのことから、小学校英語活動は時間数も少ないのが現状で、困っている先生方が多く、ALT任せになっているケースも多いということ、小・中学校の連携は進んでいない地域が多く、問題の解決方法を模索している先生方が多い、という事実が判明した。

この実態を踏まえ、研究推進委員会はカリキュラムの組み方、1単位時間の授業の組み方、ALTとのTTの進め方、担任の先生一人で進める場合の教材の入手方法、小・中連携の事例などについて、Q&A形式でマニュアルを作成し、地区内の全小学校に配布する計画である。

平成18年度入間中学校英語教育研究会 研究推進委員会
小学校英語活動に関するアンケート

市・町 立 小学校

- 1 貴校の今年度の英語活動予定をお書き下さい。(1学級の予定時数)
 1年生()時間 2年生()時間
 3年生()時間 4年生()時間
 5年生()時間 6年生()時間
- 2 どのような形態で行っていますか。(複数回答可)
ア 担任一人
イ 担任とALTとのチームティーチング
ウ 担任とボランティアとのチームティーチング
エ ALT中心
オ その他
- 3 英語活動を行っている中で、何か困っていることはありますか。
ある ない
- 4 3で、あると答えた場合、どのようなことですか。(複数回答可)
ア 自分の英語力 イ 教材
ウ 英語の指導力 エ 指導内容
オ カリキュラム カ ALTのこと
キ その他

○をつけた事項について、具体的にお書き下さい。

- 5 英語活動に関して、地域の中学校と連携していることはありますか。
ある ない
- 6 5で「ある」と答えた方へ、それは、どのようなことですか。(複数回答可)
ア 中学校教員が小学校の英語活動に参加している
イ 中学校教員が小学校の英語活動を参観している
ウ 小学校教員が中学校の英語の授業を参観している
エ 活動内容について小・中で話し合いをしている
オ その他
- 7 授業改善に向けて、何かアイデアがありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

旭川市から発信！ 大きく広がれ小学校英語の「輪」！

平成15年の設立当時、「アーン (AEEN)」っておもしろい名前ですね。」と多くの方々に言われ、ネーミングが先行気味であった小学校英語活動研究会も足かけ4年が経過した。

現在会員は70名を超え、旭川市内のみならず、上川・留萌・網走・十勝・空知管内にまでネットワークを広げている。会員の多くは小学校教諭であるが、幼稚園や中学校教諭の他、大学生、教育行政関係者 (ALTを含む)、民間英語教室講師、小学生を持つ保護者などバラエティーに富んだ構成になっている。

以降、年間7～8回のワークショップを中心に、授業研究会や「中学校の授業を参観する会」などを実施してきた。この4年間で、会員を含めて約900人の参加者を得た。

私たちは、学級担任が中心となって進める英語活動の創造を目指し、北海道教育委員会が普及をはかるB-SLIM (=カナダ・アルバータ州立大学Olenka Bilash博士が考案した第2言語習得モデル)²を核として、アクティビティー開発や学習過程研究を手がけてきた。



第5回AEENワークショップの風景から

平成16～17年の2年間にわたり、「財団法人 ちゅうでん教育振興財団」より活動助成をいただいたことで、外部から講師を招いての講演会や、ネイティブスピーカーによる「スキルアップ講座」(英語力アップ講座)、英語活動先進校視察研修選流など、充実した内容のワークショップを開催することができた。

この2年間は、AEENの研究・実践両面において、飛躍的なレベルアップに繋がったと考えている。

平成18年3月に、AEENホームページを開設した。ワークショップで紹介したアクティビティーのハンドアウトや、B-SLIMに関連する研究資料などを適宜アップしている。

また、連携する各種機関などの情報も提供している。まだまだ内容的には不十分なところも多々あるが、是非一度ホームページにお立ち寄りいただき、多くのご意見を頂戴したいと思っている。(AEENホームページのアドレスは、<http://www.aeen.jp/>)

平成18年11月には、旭川市近郊のみならず、北海道各地に案内を出し、第1回「Let's Enjoy English」(小学校英語研修会)を開催し、遠くは函館市や釧路市など北海道各地から80名以上の参加者があった。

この研修会で、札幌市で小学校英語活動を研究しているSASTEC³の会長に「小中連携の課題」をテーマに講演をしていただいた。小学校と中学校が互いに連携を図っていくことがなぜ必要なのか、またどのような連携が可能なのかを具体的に考える機会を持つことができた。





AEEN (旭川小学校英語教育ネットワーク) 統括コーディネーター 小山 俊英



平成18年11月「Let's Enjoy English」において基調提案「必修化への手順」について発表する筆者

また、小学校英語の副読本などを出版している5社に参加いただき、「ここがオススメ我が社の副読本」と題してパネルディスカッションを行った。文字の取り扱いや音声面・カリキュラムなどのサポート体制など熱気あふれるプレゼンで始まり、各社それぞれの特徴を個性豊かにPRしていただいた。

参加者にとっては、展示された書籍を見比べながら検討することができ、極めて有用な企画であったと自負している。

今回、12本のワークショップ(演習)全てで、AEENの会員がファシリテータを務め、これまで積み上げてきた成果の一端を示した。一方、それと平行して、英語活動の経験がほとんどない参加者を対象(今回は13名)に、「英語活動Beginners講座」を開設し、好評を得た。

私は、この4年間、校内研修や子どもたちへのデモンストラレーション授業のために、多くの学校を訪問させていただいた。それらの学校にB-SLIMが根付いていたり、子どもたちが生き生きと英語活動に取り組んでいる姿を目にすることは、このうえない喜びである。

今後AEENが、指導方法などの提供だけではなく、人材と学校を結ぶ「接点」としての機能や、理論や実践の「リソースセンター」としての役割を担うことのできる力量をつけることが次の課題である。

最後に、現在、小学校における英語活動は、「西高東低」と言われている。しかし、私たちは、北の地・旭川から質の高い英語活動を発信するという気概を持ち、地に足をしっかりとつけた活動を展開していきたいと考えている。

昨年、Bilash博士が行った講演の中での、「・・・北海道で活動を進めているAEENは、小学校英語の研究や実践において、最も発展した団体の一つである・・・」という言葉を会員一同、励みとして受けとめ、現在北海道各地に広がりつつある「AEENの輪」が、さらに大きく広がっていくことを心から願っている。

*1 AEEN : [Asahikawa English Education Network](#)

*2 B-SLIM : [Bilash's Success-guided Language Instructional Model](#)

*3 SASTEC: The [Sapporo Association for the Study of Teaching English for Children](#) (札幌市小学校英語教育研究会)

リクエスト給食

～オリジナルランチセットと世界の昼食～

1. 知的好奇心をくすぐる英語活動

子どもたちが学校で話題にするテレビ番組、「IQサ〇リ」や「トリ〇アの泉」。なぜ、人気があるのか。その理由の一つは、子どもたちの知的好奇心を刺激しているからではないだろうか、と考えた。「あっ、そうかっ!!」「へえ～、すごい。」そんな感想を持てば、子どもは（大人でもそうであるが）意欲を持ち、そして知的な楽しみを感じながら、その世界に引き込まれていくのであろう。

英語活動を何年か進めていくと、「高学年の壁」というものに突き当たるという話をよく聞く。その課題を解決する一つの方法が、「知的好奇心をくすぐることである」と言われている。上記のテレビ番組の話は少しそのイメージに近い。そういった視点で組み立てた6年生での実践である。

2. 英語活動のねらい

池雪小学校の英語活動の目標は、「未知なるものに対して、自分の想像力を働かせながら、理解・表現しようとする態度の育成」である。

この目標のもと、子どもの興味・関心を大切にされた内容重視の活動を行っている。内容重視とは、子どもが「知りたい!」「そうなんだ!」「やってみたい!」と思うことを活動の中心に置き、そこに英語を絡めていくというものである。内容を重視することで、子どもは指導者の話す言葉（英語）を聞いて、自分の想像力を働かせて理解しようとするであろうし、言いたいことであれば何とか伝えようとするであろう。そういった活動をくり返すことで、コミュニケーション能力の素地を培うことになると考えている。

3. 6年生の実践 「リクエスト給食」

本校では、6年生になると、クラスで給食メニューをリクエストすることができる。それを英語活動で行ったものである。自分たちの思いが給食メニューという形になるということでリアリティーがあり、子どもたちの意欲も高まる。また、他教科の学びを活かすという視点から、5年生の家庭科で学習した栄養バランスについても考えさせるようにした。そういった活動の柱の中に、世界で食べられている昼食をトピックスとして入れることにより、英語活動を通しての国際理解教育につなげていくというねらいもある。

①単元名 「リクエスト給食」(6年生・11月)

②扱う主な語彙・表現

Foods / What color? / I like ~.



愛情弁当給食



東京都大田区立池雪小学校教諭 江尻 寛正

③単元指導計画 (担任・ALT・栄養士による3者TT)

	活動内容	ねらい
第1時	What's this?	英語の音やアクセントの特徴に触れる。
	Tasting Game	既習の表現を使った質問に答えることができる。
	What color?	家庭科の学習を活かして、色を答えることができる。
	Food カルタ	食べ物を表す英語に慣れる。
第2時	Food カルタ	食べ物を表す英語の復習と栄養素の分類の復習。
	世界の昼食	世界で食べられている昼食を知り、日本のそれと比べる。
	ランチセットメニュー作り	栄養素を考えながら、自分でランチセットメニューを作る。
第3時	ランチセットメニューチェック	指導者とコミュニケーションを図る。
	ランチセットメニューの紹介	“I like ~.”を使って、自分のランチセットメニューを紹介する。
	リクエスト給食の決定	クラスのリクエスト給食ベスト3を決める。

【活動の概要】

●What's this?

栄養士が見せる食べ物カードを、担任とALTがそれぞれ答える。

例 担任: アップル。

ALT: Apple.

子どもたちは、音の違いやアクセントの違いを楽しんでいました。

●What color?

白黒の絵が描かれた絵カードを栄養士が見せ、それが何色かを答える。

子どもの反応

Potato… Yellow →「そりゃそうだ。」

Apple… Green →「青りんごか。」

Lemon… Green →「熟してないから？」

Milk… Red →「えっ!？」

Tofu… Red →「えっ!?!？」

この後、教室に「あっ、そうか。わかった!」という声が響きました。そうです。これは栄養素の色でした。

●世界の昼食

ALTと栄養士(帰国子女)に、それぞれの国での昼食について話をしてもらおう。担任はその話の中で、子どもが理解できる言葉を取り出して強調したり、ジェスチャーを交えたりして、子どもの理解を助けるようにする。

外国には給食があまりないということや、教室では食べずにカフェテリアで食べているということなど、子どもたちは興味を持って聞いていました。

●ランチセットメニューの紹介

栄養バランスも含めて考えたランチセットメニューの紹介。上位のものを組み合わせ、栄養士がリクエスト給食メニューとした(p6.写真参照)。



学級担任のための 英語救急箱

なるべくたくさんのお子たちに英語でやりとりを楽しんでもらいたいと思っています。中学年くらいまでは比較的よく声を出していますが、高学年になると恥ずかしいのか、なかなか声が出ません。どうしたら子どもたちが声を出すようになるでしょうか。

歌でも会話のやりとりにしても、高学年になると恥ずかしさが出てしまい、なかなか声が出ないということはよくあります。まずは担任がしっかりと声を出すことから始めましょう。先生が恥ずかしがってようやく声を出しているような状態では、子どもたちに声を出せというほうにむしろ無理があります。自分たちの使い慣れていない言葉を発するので、勇気も必要です。担任は自分の発音を気にせず、自らが声を出し、英語の音を出すことは楽しいしおもしろい、とまずお手本になりましょう。そうすれば、子どもたちには自然と新しい言葉を発声する楽しさが伝わります。

高学年になると、知的好奇心も高まり、理解したうえで楽しみたい、という欲求が強くなってきます。子どもたちのそのような興味を引き出せる教材（好きな歌や雑誌の記事など）を使っていくのも一つの方法ですね。



根本 アリソン

Say "Hello" with Alison!

イギリス出身・1989年より福島県でALTとして活躍中

■打ち合わせのとき

今回はALTとの打ち合わせのときのヒントです。第一印象が大切ですから、笑顔で迎えましょう。

I've been looking forward to teaching with you.

「(あなたとごいっしょする) 今日の授業を楽しみにしていました。」

Today's class is for 5-2(fifth grade-class two).

It's from 10 o'clock to 10:45. It's in their classroom and there are 34 children.「今日は5年2組の10時から10時45分まで、教室での授業です。児童数は34人です。」

このように時間、場所、人数を確かめてから、内容について打ち合わせをしましょう。

この他にも打ち合わせでは次のような表現が使えます。

What are your ideas for class today?

「今日の授業の活動案は何ですか。」

I have some ideas for class today.

「今日の授業の活動案がいくつかあります。」

What do you think? 「どう思いますか。」

That's great! 「よいですね。」

What would you like me to do? 「私はどうしたらいいですか。」

Is there anything you need? 「何か必要な物がありますか。」

さあ、スムーズな打ち合わせを目指してがんばってください。

See you again soon.

(福島県双葉郡大熊町ALT)

Riddle me, riddle me.

なぞなぞなあに。

SMILES?

Why is "smiles" the longest word? "smiles" (ほほえみ) が一番長い単語なのはどうして?

なぞなぞのことば (笑) Because there is a mile between the first and the last letters. はじめの文字と最後の文字との間に1マイル (笑)

小学校英語情報誌

Hello, Kids!

Vol.1-2 (通巻2号)

定価120円(本体114円)

送料80円

平成19年3月9日印刷 平成19年3月15日発行(年4回発行) 編集兼発行人 山岸 忠雄

印刷所 株式会社興隆社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎03(5684)6121(営業)、(5684)6118(販売)、(5684)6115(編集) <http://www.kairyudo.co.jp>



開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社	〒060-0061	札幌市中央区南一条西6-11	札幌北辰ビル8階	☎011(231)0403
東北支社	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町1-11-1	萩野町Mビル2階	☎022(782)8511
名古屋支社	〒464-0802	名古屋市千種区星が丘元町14-4	星ヶ丘プラザビル6階	☎052(789)1741
大阪支社	〒550-0013	大阪市西区新町2-10-16		☎06(6531)5782
九州支社	〒810-0075	福岡市中央区港2-1-5	FYCビル3階	☎092(733)0174